

# 桂川右岸流域下水道雨水対策事業 (いろは呑龍トンネル)

(京都市西京区、南区、向日市及び長岡京市)

桂川右岸流域下水道雨水対策事業は、集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、平成7年度から雨水貯留管「いろは呑龍トンネル」の整備を進めており、平成23年10月に北幹線の供用を開始し、平成25年度には南幹線に工事着手しています。

平成27年度は、引き続き南幹線シールド発進立坑の工事進捗を図るとともに、昨年度発注したトンネル本体工事のシールドマシン製作を行います。

## ◎事業概要

全体計画	平成26年度までの実績	平成27年度計画
事業期間：H7～ 事業延長：約9.2km 対策量：約24万m <sup>3</sup> 管渠内径：8.5～3.0m ----- 総事業費：約450億円	○雨水北幹線 管渠延長：約4.9km 対策量：約11万m <sup>3</sup> ・北幹線第1号管渠(H13供用) ・北幹線第2・3号管渠(H23供用) ○南幹線 ・発進立坑の築造 ・シールドトンネル(発注) ----- 事業費：約266億円	○南幹線 管渠延長：約4.3km 管渠内径：3.5m ・発進立坑の築造 ・シールドトンネル (シールドマシン製作) ----- 事業費：約5.8億円 (H26補正1.8億円含む)

## ◎事業効果

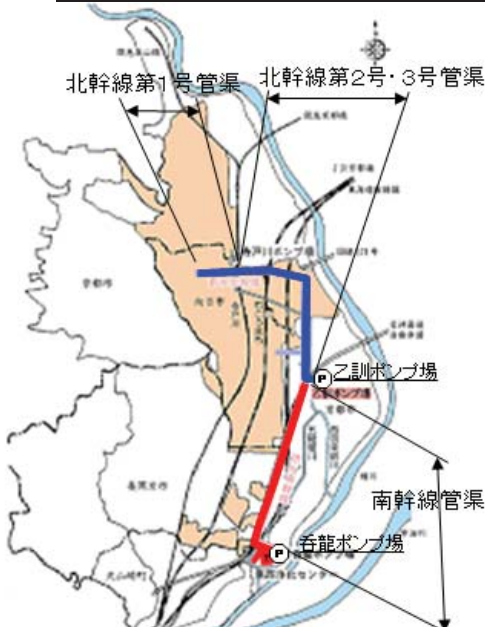
近年頻発する集中豪雨により、たびたび浸水被害が発生している西羽東師川流域において、雨水を貯留する地下トンネルを整備し浸水被害の軽減を図ります。

平成23年度までに供用を開始した北幹線管渠では、平成25年台風18号及び平成26年台風11号において100%まで貯留する活躍により浸水被害の軽減に大きな効果を発揮しました。

南幹線の整備により、対象区域が長岡京市まで拡大し、呑龍ポンプ場から桂川へ直接放流することにより、いろは呑龍トンネル本来の機能が確保されます。

(H32 暫定供用開始、H35 完成予定)

## ◎桂川右岸流域下水道雨水計画概要図



## ◎発進立坑築造の状況



凡 例

- 計画処理(排水)区域
- 行政区域界
- 幹線管渠(既設済)
- 幹線管渠(工事中)
- 幹線管渠(計画)
- 処理場
- ポンプ場